

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2011年3月20日発行 第95号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ	P6 ~ P7
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P8 ~ P11
生徒支援からのお知らせ	P12
進路支援からのお知らせ	P13
しごと悩み相談室からのお知らせ	P14
今月の聖句	P15

<同封物>

「東日本大震災被災者支援」の街頭募金の案内(黄) <全員>

学校新聞第16号 <全員>

進路ニュース(青) <2、3年次>

進学教育センターだより(桃) <全員>

「奨学金等制度説明会の開催について」の案内(白・両面) <2、3年次>

劇団四季(カラー) <全員>

3/16(水) ~ 3/25(金) に前期講座登録を行います。

4/11(月) に、在校生ホームルームを行います。

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページで閲覧できます。



2011年度のスタートに向けて目標を!!

皆さんご存知の通り、本校の卒業式が行われた3月11日(金)に東北地方を中心に広い範囲で大きな地震が起こりました。1995年に起きた阪神淡路大震災の記憶がよみがえる思いです。今度は、地震だけでなく、大津波による未曾有の被害がでました。2月にはニュージーランドでの地震により、多くの日本人の方が被害を受けられたところなのに、またもや自然災害の恐ろしさを感じました。被災地の皆さんの安全が一日でも早く確保されますことを、心よりお祈りいたします。

さて、3月11日(金)に2010年度後期卒業式が、大阪YMCA会館にて行われました。今年度は、本校263名と連携校(大阪・神戸・姫路・和歌山・熊本・千葉)の84名の合計347名の卒業生がYMCA学院高校を巣立っていきました。新たなスタートを切った卒業生の皆さんの門出を見守りたいと思います。

そして、在校生の皆さんは講座登録もスタートし、いよいよ2011年度に向けて動き出しました。次年度はどのような目標を持つかしっかり考えて講座登録に臨んで欲しいものです。

本校の卒業要件

高校に3年以上在学すること。

74単位以上修得すること。

必要な教科・科目(必修科目)を履修すること。

「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。

特別活動に30時間以上参加すること。

(『2010年度版 学務の手引き』より抜粋)

大阪YMCA 年間聖句

あい
「愛は

かんせい
すべてを完成させるきずなです」

コロサイの信徒への手紙3章14節(新共同訳)

Raising strong children and building a loving community
OSAKA YMCA Since 1882

2010年6月-2011年5月

スケジュール

日	曜	行事予定
3 月		
3/22	火	特別活動：11年度前期講座登録（現1年次の予約者）
3/23	水	特別活動：11年度前期講座登録（13：30～16：30のみ：現1年次の予約者）
3/24	木	
3/25	金	特別活動：11年度前期講座登録（現1年次の予約者）
3/26	土	特別活動：街美化ボランティア
4 月		
4/1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	特別活動：在校生ホームルーム
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	〔学校通信〕発送（予定）
20	水	
21	木	
22	金	11年度前期レポート集・個人時間割ほか発送（予定）
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	前期学費納入案内発送（予定）
28	木	
29	金	（昭和の日）
30	土	
5 月		
5/1	日	
5/2	月	
5/3	火	（憲法記念日）
5/4	水	（みどりの日）
5/5	木	（こどもの日）
5/6	金	11年度前期スクーリング開始

学校行事のない日は
特別な用事のない限り
来校はできません。

4/29～5/5 はゴー
ルデンウィーク
学校休業日です。

教務からのお知らせ

【前期の講座登録】 3月16日(水)～25日(金)(担任と予約した日時)

2011年度前期の講座登録は、3月14日(月)のホームルームで予約した個人別の日時に、生徒ご本人と担任が相談しながら行います。

講座登録では、事前に「開講講座の概要」で講座内容をしっかり確認し、開講される講座の中から自分が学習しようと思う講座を選び、登録します。

3月14日(月)のホームルームを欠席した人は、必ず担任に連絡して面談日時を決めてください。

また、予定日時に来れなかった人も、必ず連絡して予約し直してください。

どうしても本人が不都合な事情があれば、登録は保護者が代行できます。

日程は、3月16日(水)・17日(木)午後・18日(金)は、今期卒業しない現3年次生と現2年次生、22日(火)・23日(水)・25日(金)は、現1年次生です。

ただし、2011年度の施設設備費が3月15日(火)までに未納入の人は、この期間内に講座登録はできません。

3月16日(水)以降に施設設備費を納入された場合は、担任に連絡の上、講座登録の日程を決めてください。

講座登録が遅れると、希望する講座の登録ができなくなったり、受講開始が遅れる場合もあります。

また、講座登録をしないと、前期の授業を受けることはできませんし、本校の在籍期間として認められませんのでご注意ください。

(本校では在籍期間認定のために、各期に最低2単位分の講座登録が必要です。)

講座登録に際しては、

必修科目を優先させる

各自の関心・実力・進路など十分に考慮する

各期登録単位数の上限は20単位であるが、標準で7講座14単位程度とする

卒業予定者は、修得できない講座がある場合を考慮して登録単位数を少し多めにする

(すでに修得した単位と合わせて、総計が9月卒業予定者は74単位、

3月卒業予定者は60単位^(注)を、それぞれ上まわるように登録する)

などの点に注意してください。

(注)大学等の受験のために、本校の「推薦書」を発行するにあたっての条件になります。

【11年度の「誓約書」提出のお願い】

11年度の「誓約書」を、保護者宛に3月14日(月)にお送りしています。

ご確認の上、署名・捺印をいただき、前期講座登録時に、担任までご提出ください。

講座登録時に提出されなかった場合は、4月1日(金)までに学校宛郵送してください。

【在校生の11年度第1回ホームルーム】 4月11日(月)

在校生のホームルームを4月11日(月)に行います。

新年度を迎え、ホームルームクラスが変わります。

新ホームルームクラスは当日発表し、実施教室も当日掲示します。(特別活動1時間)

時 限	年次の別
2 限目 (10:30~11:20)	新2年次生(現1A 1B 1C 1L)
3 限目 (11:30~12:20)	新3年次生(現2A 2B 2C 2D 2E 2F) および卒業しなかった現3年次生

(注) 本校は学年制でないので、3年次といっても、そのまま来年3月に卒業できるわけではありません。単位数などの卒業要件を満たす必要があります。

【前期レポート集・時間割・教科書の発送】

登録講座にもとづき、皆さんの届け出住所あてにレポート集と個人別時間割、および教科書が送られます。

レポート集と個人時間割は、4月22日(金)頃に本校から発送する予定です。

教科書は同じ頃、^{きょうばんどう}教文堂という書店から送られますが、入荷の都合や年次順に発送作業をするなどの理由で、正確な時期は予告できません。

おそくとも4月末までには配達される見込みです。

レポートや教科書が届かない場合も、スクーリングには出席してください。

【前期のスクーリング開始】 5月6日(金)より開始

スクーリングは、講座登録で決まった各自の時間割にもとづいて、5月6日(金)より始まります。4/22(金)頃送付する「個人時間割」で確認の上、各自が登録した講座の最初の曜日・時限から出席してください。

【芸術科・家庭科の作品持ち帰り】

美術・書道・家庭科などで作成した作品は、講座登録やホームルームで来校した際に持ち帰ってください。

引き取りのない場合、4月末をもって処分しますので、ご了承ください。

街美化ボランティア

3月26日(土) 16:15から約1時間(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません。)

事務室からのお知らせ

【生徒証明書用写真未提出者について】

「2011年度生徒証明書」は、2011年度前期講座登録時に担任よりお渡しいたします。

写真の提出がまだの生徒は、すでに送付済みの写真提出用紙に注意事項を確認のうえ写真(タテ3.5cm×ヨコ2.5cm・1枚)を貼り付け、同封した返信用封筒で至急学校事務室へ提出してください。現在使用中の「2010年度生徒証明書」は有効期限が3月31日となっていますので速やかに手続きをしてください。

今後の生徒証明書の発行は、写真の提出から3日後になります。

【住所等変更手続きについて】

現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。

特に生徒証明書の切り替えの時期ですので変更事項が決まっている場合は早めに届け出るようにしてください。

通学経路が変わる場合は、「通学割引証申請カード」を変更しますのであわせて提出ください。

(即日発行はできません。)

届出用紙は事務室にある他、『2011年度学務の手引き』の巻末にもあります。コピーして使用してください。

【2011年度前期学費の納入について】

2011年度前期学費納入案内については、4月下旬に学校から発送する予定です。

納入期限日は、5月13日(金)の予定です。

学費の納入期限の延期(延納)を希望する場合、または分割納入を希望する場合の手続き書類の提出期限日も同様に5月13日(金)です。

詳細は送付する納入案内に載せていますが、前もってお知らせいたしますのでご予約ください。

【ゴールデンウィーク学校休業日について】

ゴールデンウィーク学校休業日(4/29~5/5)は、事務取扱いがありません。

遠隔地への旅行などに必要な学割申請については、4/25(月)までに申請のあった分については4/27(水)に発行できます。即日発行はできませんので注意してください。

【高等学校等就学支援金の現状について（対象者のみ）】

就学支援金の現時点での状況や今後の手続きについては、すでに対象者には「国の私立高等学校等就学支援金についてのお知らせ」を保護者の方に送っていますので、そちらでご確認ください。

2011年度前期学費納入案内については、前期講座登録後に認定された「支援金」を差し引いた金額で4月下旬頃にご案内いたします。

昨年度加算申請が認定されている場合は、現在第1期分(6月まで分)の加算が認定されています。第2期以降分(7月以降分)の加算申請につきましては、再度平成23年度の住民税の証明書等確認書類の提出が必要となります。

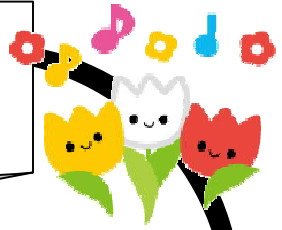
現在の加算対象の方には5月に提出のご案内をいたします。提出期限は6月末を予定しています。したがって、前期学費のご案内は7月上旬頃になります。

新たに第2期以降分(7月以降分)の加算申請を予定されている場合は、前述のとおり6月中に手続きが必要です。

5月以降に申請書類をお渡しいたしますので事務室へお申し出ください。

前期講座登録を行わない場合は、就学支援金はありませんが、対象月数が減ってしまいますので「休学」の手続きとともに支援金の「停止」手続きを行ってください。

保健室・カウンセリングスペースからの お知らせ



* 2011 年度後期スクーリング開始までの健康管理について

温度差に注意！

朝夕と昼間の気温差、室外と室内の温度や湿度の差で、体調を崩しやすい時期です。調節しやすい服を選びましょう。

生活リズムを整える

食事や睡眠が十分ではないと栄養が補給できず、疲労も回復されないので、免疫力が低下します。こまめに水分も補給しましょう。

不調を感じたら医療機関へ

早期に対応することで重症化せず、早く治りやすくなります。自己判断はなるべくしない方が良いでしょう。スクーリングの開始にあたり、健康面で気になることがある場合は、担任又は保健室へ連絡してください。

* 保健室で使用する薬などについて

保健室では外科的なけがの処置として、消毒液、シップ薬、点眼薬などを使用します。使用前に確認しますが、まれにアレルギー反応が出る場合があるので、自覚症状がある人は申し出てください。なお、内服薬は置いていませんので、必要のある人は各自で用意してください。

【カウンセリングスペース】

* 2010 年度の開室期間は終了しました。2011 年度については、4 月以降の学校通信で案内します。

* カウンセリングスペースについてのお問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。

保護者の方もご利用できます。

【お願い】

保健室・カウンセリングスペースでの食事はご遠慮ください。

<2010 年度後期 保健室・カウンセリングスペース便り>

<今回は、保健室とカウンセリングスペースに関わる方々に、後期終了のコメントをいただきました。>

「自分の器って？」

金曜日担当 道嶋 公子

ライブハウスで音楽活動をしている人がいる。その人はハスキーボイスに憧れていた。でも彼女の声は人から「きれいな高い声ですね」って言われる声。その人は音楽活動をスタートしたのが遅かった。だから若くない自分に引け目を感じていた。その上、彼女は離婚していて子どもがいた。そのことにも引け目を感じ、ひた隠しにしていた。でも、ある日思った。それでは自分を認めていないことになる。そこで彼女はステージの上で自分のことをありのまま語った。そうしたら、思いがけずいい反応が返ってきた。見た感じ若く見える彼女が実はそこそこの年で子どももいる…そのギャップは彼女の魅力となった。そうなんだ。偽ることはない。恥じることもない。そのままの自分で勝負しないと。そう思ったら、自分の声のことも捉え方が変わった。自分の声はどう頑張ってもハスキーな声にならない。なれないものに憧れを抱いていても仕方がない。自分は自分の持っているきれいな声を売りにしよう。彼女は今、自分のきれいな声をどう活かそうか考えている。彼女はライブ活動を行う中で自分という器の長所を理解した。

私たちはついつい無い物ねだりをしがちである。しかし無い物を「あれが無いから…これが無いから…」って言っても何も始まらない。そう、まずチャレンジ。人に会ったり、自分がやりたいことをしたり。そうしたら自分の器がはっきりしてくる。そんな私、柔らかい雰囲気キャラの人に憧れる。私の器はよく人から男前と言われる。それをなんとか柔らかい雰囲気に見せたくて、最近パーマをあててみたが、みんなからキャラじゃないと言われた。たしかに自分でもなんだかびったりこない。やっぱり、私の器は男前が似合うらしい。これからは自信を持って男前キャラ全開にしますね。ところで、みんなの器はどんな器ですか？

「分かること、分かってもらふこと」

保健環境担当 小平 夢子

私の好きなことの一つに旅行があります。国内・国外を問わずいろんな所に足を運びます。テレビや雑誌などの写真でしか見たことのない世界を実際に自分の目の前にする。その時、自分は一体どんなことを感じ、どんなことを思うのだろう、とワクワクしながらその場へと向かいます。訪れる際、楽しみにしていることと大切にしていることがあります。それは、そこに暮らす人々との交流です。観光地を巡り、写真を撮るだけで満足するのではなく、実際に言葉を交わすことで、そこに生きる人々が何を思い、何を考えて日々を送っているのか知ることは、自分の在り方を考える良い機会となります。

そうして、人々とある物事について語り合ったり、意見交換する時、そこには必ず意見や考え方の違いが生じます。(何も旅行中に限らず、普段の生活でも同じことが言えますが。)伝える側は一生懸命伝えようとします。しかし、伝える側ばかりが一生懸命では一方通行です。伝えられる側も、相手を分かろうとしなければなりません。生まれ育った背景が違うから、価値観が違うからと言って、相手の話に対して耳を塞いでしまっても良いのでしょうか？同じ言葉を使ってさえいれば通じ合えるとは限りません。同じ場において、同じような言語で言葉のやり取りをしても、残念なことにすれ違ってしまっている人たちは沢山います。

相手が発した言葉は、本当にその言葉通りなのか。それとも違う別の意味が隠されているのか。本当に伝えたいこと、言おうとしていることは何なのか。受け取る側は、相手がどんな気持ちでその言葉を発したのかを分かろうとする心掛けが必要です。分かってくれない、分かってもらえない、分からないと決めつける前に、まず相手を分かろうとする気持ちを持つてみると、違うものが見えてくるのかもしれない。

「最初の第一歩」

保健環境担当 加志 勉

小さい頃（小学生ぐらい）近所の友達と「だるまさんがころんだ」をよくしました。地域によってネーミングや数の数え方も違っていたと思いますが、私の所では、「最初の第一歩」と呼んでいました。この遊びを私がYMCAのウエルネス部門にいた頃、小学校低学年の野外活動などで子ども達とよくやったことを覚えています。この遊びでは、スタートで「最初の第一歩」といってスタートラインから一歩前へジャンプします。そのジャンプの距離はみんなバラバラです。大きく一歩前へ出る人もあれば、遠慮がちに小さく一歩前へ出る人もいます。そして、オニが数を数えているあいだに前に進みます。その進み方もみんなバラバラです。大きく進む人、進みすぎてすぐにオニ見つかってしまう人、慎重に少しずつ進む人もいます。

さて、皆さんは何か新しいことをする時「最初の第一歩」は慎重なほうですか？それとも「いてまえ」的な感じですか？また、目標への進み方は大きく進むほうですか、それとも少しずつ慎重にですか？人それぞれのペースがあると思います。また、その時に応じたペースもあると思います。皆さんにとって大きな目標の一つに「高校卒業」ということがあると思います。でも、その目標への進むための「最初の第一歩」もその後の進み方もみんなバラバラです。来る2011年度、皆さんはどんな一歩を踏み出しどんなペースで進みますか？その歩みをしっかり見守りたいと思います。

「短所と長所はカミ一重～すごろくのススメ～」

保健環境担当 後藤さやか

後期の保健室は、利用者が多く、賑やかになりすぎるときもありました。楽しく過ごしてくれるのは良いのですが、「賑やかな保健室」でいいのかな？と不安になることも…。そんな保健室での様々な会話の中に、自分の直したいところや欠点の話が出ることがあります。みなさんには、直したいことがありますか？

例えば髪の話。細い・太い、くせ毛・直毛などなど…。私の髪は、細くて直毛でやわらかいです。ボリュームもないし、紫外線や乾燥、摩擦などの刺激に弱く、よく枝毛になってしまいます。「もっと強くて、パーマが当たりやすかったら良かったのに…」と常々思っています。真逆の髪質の友人とは、「髪質を足して半分に分りたいね」と言い合うことも度々です。でも、自分では良くないと思っていることも、「いいなあ」と言われると少し良く思えることもありますよね。髪質は変えられないけど、自分の中のマイナスな感情は軽くなります。

性格などについても同じことが言えると思います。前向き（ポジティブ）と後ろ向き（ネガティブ）、積極的と消極的などなど…。私はどちらかと言えば「後ろ向き」な考え方をするので、「変えたいな」とか、「変わらなきゃ」と思うことがあります。性格や行動は、髪質とは違って変えられることもあります。でも、変わるのには時間がかかるし、変えようとするのには努力も必要です。「そのままでもいいよ」と言われると「そっか、そうかも」と思えるときもあります。自分の気持ちによっても揺れ動かし、誰かの言葉で、それまでとは全く違う考えに変わることもあります。最近は、色々な価値観と言うか、捉え方があっていいのかなあと、なんとなくわかってきたような気がします。例えば、「なかなか決められない自分の性格」を「優柔不断」と言うか、「慎重」と言うかはどちらでもいいのです。それをどっちと言うかよりも、そんな自分を「これも私なんや」と思えたら、それは一歩前進なのかもしれません。

お正月に家族がそろい、小学二年生の姪が持ってきた「旭山動物園立体すごろく」で遊びました。五歩進んだかと思えば三歩戻ってさらに一回休み、振り出しに戻ったり、ゴール手前で足止めされたり…。なかなかスムーズには進めませんでした。人生も簡単に言ってしまうと、「すごろく」のようなものです。立ち止まるのも、後ろを振り返るのも、逆戻りだって「なんでもあり」です。時には立ち止まって、後ろを向いて、今の自分の位置や歩いて来た道を確認すればいい、そのほうがきっと、「前」だけを見ているよりも視野が広がるはず。そんなことを思った2011年の始まりでした。

「人は皆、火で塩味を付けられる。塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。（聖書）」

塩を持つこと 塩が良いものであることを、わたしたちは、知っています。私たちの生命維持に欠かせないもの。食べ物に味付けをして、時に隠し味として旨みをひきだすものとして。

では、人生の塩とは？甘い恋もありました。苦い思い出も、すっぱい失敗もありました。そして、塩辛い痛みすら…。火で焼かれるような痛み 愛する人・存在を失う痛みと苦しみ…。

自分自身がどうしても許せずに責める夜。悔やんでも悔やみきれない、今はもう届かない言葉…。

火によって刻まれる痛み そしてそのことによって与えられる塩味。

痛みや苦しきは、与えられたくはありません。でも、そのことによって人は人の痛みを知ることが出来るようになるのではないのでしょうか。本当のやさしさ、強さを与えられ、今のわたしを形成している。塩を持つ 痛みを持つ・知るということ。愛を持つということ。

泪は真実に美しい花を咲かせる、いのちの滴りなのかもしれません。そして人はその泪によって、塩味を思い出し、やさしくなれるのかもしれません。

「互いに平和に」

「呼びかけと応えること…「生まれることの許可」をめぐって」月曜日担当 石井 邦也

2010年度も「カウンセリングスペース」がたくさんの方に利用されました。日常の学校活動はもちろんのことですが、「カウンセリングスペース」に来ていただくこともあって、自分の人生の物語りを新しく作り、歩み出している姿を目にすることは、とてもうれしいことです。そんな時、病や社会的な偏見によって虐げられ、長い間辛い思いをすることを余儀なくされていた人に対しイエスが応えられた言葉「（もう良いんだよ）起き上がりなさい」が身近に感じられます（【マタイ福音書8・9章】）。

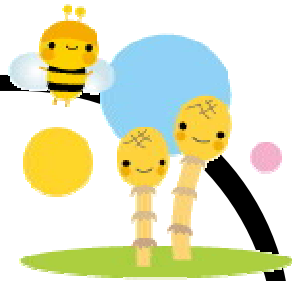
カウンセリングルームの中で語られることを聴きながら、同時に、私はどんな役割を果たせば良いのかと、考えを巡らせます…。語られたことを聴くこと自体が大切なのか、それをしっかり受け取ることが大切なのか、また、語られたことに応え感じたこと・考えたことを伝えることが良いのか…。語る人の思いや考えがどこにあるのか、どうすればより近づけるのか。そしてまた、どのように応えれば相手に伝わるのか、またそのようなやり取りを深めるにはどうすればいいのか…。そのような問いが渦巻き、駆け巡ります。

ある日のこと、「石井さん！」と私の目をしっかり捕えながら、自分の名、『私』がきつい口調で呼ばれました。「え、何?!」と強く関心を引き付けてられたところで、問いが投げかけられました。「生まれる時、親は私の許可を取ったんですか?!」。なかなか難しい問いです。何か怒りが込められているようにも感じました。どう言葉を返せば良いのか…。難しく感じた瞬間でした。これ以降のことは、その方の「許可」を取っていませんので、読んでくださっている方の想像にお任せします。

私自身、子どもが生まれた時にその許可をとった記憶がありません。第一子は生まれて直ぐに保育器に入り数時間後に命を亡くしました。その時は、何もしてあげられなかったことがとても残念で、悲しく、何か申し訳ないという思いの中に全身が浸っているようでした。また、繰り返し入院治療を受けていた父が亡くなり、遺体を家に運び入れることができました。父の母である祖母には詳しい事情を知らせていなかったこともあり、「何でこうなったんや!」と、変わり果てた自分の子どもの姿を目にし、驚きと怒りとで私を詰問してきました。命が生まれたり、なくなったりすることは、私たちの許可や同意を超え、私たちの思いや願いを超えたところに在るのかもしれません。

『今ここに生まれている』ということ。まずその事実を目を留めて、その弱さや不十分さを抱え持ちながらもなお生きる意味があり、そしていろんな人との出会いを通し、何かに参加しながら、誰かと会話をしながら、その意味を探る旅を続けているのではないのだろうか。そして、そのつど「自分の物語り」を新たに作り塗り替えているのではないのだろうか。そんな「自分の物語り」を描く作者として、私は『自分』を見えています。

生徒支援からのお知らせ



【学校生活を快適に過ごすために】

後期の単位認定テスト終了から約1ヵ月がたち、4月より新しい年度が始まります。この時期みなさんはどのように過ごされているでしょうか。

さて、最近、学校周辺の環境が大変よくなってきました。学校周辺は、地域の方の生活の場ですので、今後も清潔に保っていくようにしたいものです。今後、ホームルームや前期の講座登録などのために来校する機会が増えると思いますが、引き続き楽しい学校生活が送れるようにしてください。

『2011年度学務の手引き』の「学校生活上の決まり」(P.40)記載内容を含め、以下のような行為は絶対にしないでください(スクーリングがない期間中も、スクーリング期間中と同じです)。

- 1) 学校内(教室・廊下・トイレなど)と学校周辺での喫煙
- 2) 自動車・バイク・原付での通学
- 3) 他の生徒を中傷する行為・暴力行為
- 4) 学校の施設・設備をこわすこと
- 5) ごみをところかまわず捨てること

《『2011年度学務の手引き』について》

『2011年度学務の手引き』は、毎年、変更箇所がありますので必ずお読みください。

以前、様々なルール違反により注意・処分を受けた人は、違反行為を繰り返すことにより、より重い処分を受けることがないよう、十分留意してください(年度が変わっても、注意・処分を受けた回数が0に戻ることはありません)。

ちょっとした心がけで、ルール違反は防げるものです。

健全な学校生活が送れるよう、生徒のみなさん一人一人の心がけを期待しています。

3/14(月)のホームルームでお渡しした(欠席者には郵送)『2011年度学務の手引き』でもう一度確認をしておいてください。

進路支援からのお知らせ

【オープンキャンパスについて】

2011 年度入試もほぼ終了し、まもなく新年度を迎えます。

2 年次生にとっては、進路について本格的に考えなければならない時期となりました。各自の将来を見据え、しっかりと進路選択をしてください。

一部の大学等では、オープンキャンパスが3月より実施されます。進学希望者は、積極的に参加するようにしてください。オープンキャンパスの情報など、3Fの「**進路コーナー**」を上手く活用してください。

大学、専門学校のオープンキャンパスや、企業、会社説明会などへの参加は、特別活動として認定されます。

報告用紙（1F 受付にあります）に記入の上、申請してください。

【『保護者とともに進路を考える会』のご報告】

2/26（土）に1・2年次生の保護者を対象に『保護者とともに進路を考える会』を実施しました。

1年次生の会は31名、2年次生の会は72名の保護者の方々が参加されました。

多くの方に参加を頂き、盛会のうちに終えることができましたことを感謝いたします。

なお、当日欠席された方には、当日配布しました資料を後日お送りいたしますのでご確認ください。

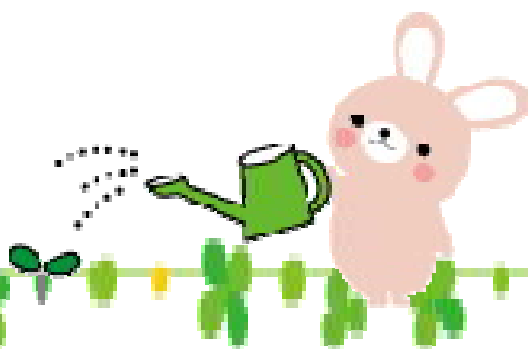
しごと悩み相談室からのお知らせ

今年度もたくさんの生徒さんや保護者の方に来ていただきました。

「はたらく」ということがすべての生徒さんにとって大切なテーマであるからこそ、進路を考えていくことは時に大きなプレッシャーになります。もし、生徒さんや保護者の皆さんにとって『しごと悩み相談室』が少しでもリラックスして話せる場になっていたとしたら、そんなにうれしいことはありません。

来年度の『しごと悩み相談室』の時間帯など詳しいことは未定です。

詳細は「学校通信」でお知らせできると思います。





今月の聖句



『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人に
つながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ』

(ヨハネによる福音書 15章5節)

わたしたちは、朝、家を一步出した瞬間から、目的地につくまで、ほとんど知らない人たちに囲まれて移動しています。それらの人たちは、あいさつさえ交わすことがありません。つまり「何もない関係」です。

ではイエスさまと、イエスさまを信じる者とはどうでしょうか。ここでは木と枝がつながっているように「一対一の向かい合った関係」であると示されています。わたしたちがイエスさまにつながりたいという思いだけではなく、イエスさま御自身もわたしたちにつながってくださるというのです。そしてつながるだけでなく、さらに豊かな恵みまでもご用意してくださっています。

たった一本の枝になるぶどうの数は、そんなに多くはないでしょう。しかし、イエスさまによって結ばれた実の、その一粒から生まれてくる新しいぶどうの数は数えることができません。イエスさまにつながっているということは、無限の愛を頂いているということなのです。

(東梅田教会神学生 青木麻里子より)

南YMCA「キリスト教」委員会

C A R I N G
R E S P E C T **Y M** **H O N E S T Y**
C A
R E S P O N S I B I L I T Y